

令和 6 年 度
事 業 計 画

社会福祉法人名古屋市長区社会福祉協議会

令和6年度事業計画

はじめに

名東区は令和7年2月1日に区制50周年を迎えます。

「名東区区制50周年記念事業実行委員会」が設立され、50周年記念事業を実施することで、名東区の発展を祝い、区民相互の交流を促進する契機として「つながるまち、ひろがるまち名東」のまちづくりを一層推進することが計画されています。

名東区社会福祉協議会（以下、「区社協」という）も設立50周年を迎えます。名東区制50周年冠事業を実施するなど、この機会と一緒に住民相互の交流を広げ、地域福祉推進の契機としていきます。

区社協は昨年度、「第5次名東区地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画の目標を達成するために「第5次名東区地域福祉活動計画推進会議」を設置し、名東区を「みんなが活躍できる」「みんなで支えあえる」「みんなで子どもを育むまち」になるように5年間かけて取り組んでいきます。

また、「重層的支援体制整備事業」が今年度から名東区で始まります。

区社協は昨年度、名古屋市の受託法人募集に名古屋市社会福祉協議会と共同して応募し、受託法人に選ばれました。

区社協に「包括的相談支援チーム」を配置し、住民や関係団体と連携、協働しながら、生活課題を抱え支援が必要な人に寄り添い、生活課題の解消と地域において役割を持ちながら社会参加ができるように支援を届け、誰一人取り残さない地域共生社会の実現に向けて、相談支援に取り組めます。

新たな取り組みにも今まで同様、19学区地域福祉推進協議会や関係機関・団体と協働して住民の皆さんの生活や地域の状況を把握し、住民の皆さんにとって暮らし良い名東区となるように地域福祉を推進していきます。

1 地域福祉活動の推進

(1) 第5次名東区地域福祉活動計画の推進 (※)

令和6年度からの5年間、名東区の地域福祉活動および本会活動の指針となる「みんなが自分らしく暮らせるまちへ～活躍・支える・育む～」を基本理念とした第5次名東区地域福祉活動計画の実施初年にあたり、「地域福祉活動計画推進会議」と3つのプロジェクトチームを中心に活動および事業を展開します。

(2) 地域福祉推進協議会への支援 (※)

地域福祉推進協議会（以下、推進協）が実施するふれあい給食サービス事業、つながり応援事業、地域支えあい事業など、学区ニーズに即した地域福祉活動を支援し、地域住民同士の支えあい・ふれあい活動の促進を図ります。

引き続き、支えあう地域づくりの主たる担い手である推進協の機能強化を図るため、推進協会長連絡会の定期的な開催、推進協研修会の充実に努めます。

令和6年度より学区の情報発信をより充実させることを目的に、推進協ホームページの開設支援を行います。

職員の学区担当制を継続実施し、職員の学区行事参加等を通じて、各学区推進協の状況把握に努め、運営や事業・活動推進の積極的な支援を行います。

(3) 地域支えあい事業の実施

高齢者をはじめとした住民の困りごとを地域のご近所ボランティアによって支援し、要支援高齢者等が可能な限り自立した日常生活が営むことができるようにすることで、住民同士の支えあい意識の向上を図ることを目的とする本事業について、引き続き高針、藤が丘、梅森坂、極楽、引山および北一社学区の推進協と協働して実施するとともに、更なる実施学区の拡大に努めます。

(4) 「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業」の受託実施 (※)

重層的支援体制整備事業は名東区で令和6年度から事業が開始され、名古屋市社会福祉協議会協議会と名東区社会福祉協議会のコンソーシアム（共同事業体）が名古屋市から同事業を受託し、名東区社会福祉協議会に「包括的相談支援チーム」が配置されます。

この「包括的相談支援チーム」が中核となり、既存の相談支援機関等との適切な連携・協働による包括的な相談支援を行います。

また、地域とのつながりが乏しい区民を対象とした個別の参加支援を行う拠点である「つながりづくりの拠点」を区内に1カ所設置し運営します。

そして、区役所所管課との緊密な連携を常に図りながら、区主催の区連携会議や包括的相談支援チーム主催の重層的支援会議、個別のケース会議等の開催を重ねながら名東区における地域共生社会の実現を目指します。

(5) 地域包括ケアシステム構築にかかる調整・支援（※）

要介護状態になっても住み慣れた自宅で生活できるよう医療・介護・生活支援等が一体的に提供されるシステムの構築に向けて、引き続き、地域包括ケア推進会議はじめ、各専門部会に参画します。

特に生活支援については「地域支えあい事業」などの見守り活動の実施主体となる推進協の会長連絡会を区生活支援連絡会と位置づけ、住民を担い手とした生活支援の推進を支援するとともに、生活支援連絡会のもとに設置したワーキンググループにおいて住民と医療・福祉・介護専門職等が協力して、気軽に相談やつながりができる体制づくりを検討します。

なお、このワーキンググループは、第5次地域福祉活動計画プロジェクトチームの1つとしても位置づけます。

(6) 高齢者サロンの整備等生活支援推進事業の実施（※）

① ふれあい・いきいきサロンの整備等の推進

高齢者をはじめとした住民同士が、身近な場所で交流できる場である「ふれあい・いきいきサロン」について、既存サロンの運営支援とサロン開設希望者への支援を兼ねて、サロン運営者同士の情報共有やプログラム開発を目的に「さろん♥すてっぷ」を引き続き、毎月20日（土・日・祝日を除く）に開催します。

また、必要な方が参加しやすい環境となるように推進協や区内の活動団体・施設等と協力し、特にサロン数の少ない地域においてサロン整備を働きかけます。

② 高齢者・障がい者・子育て世帯などへの生活支援事業の推進

地域でのサロン活動を通じて、社会的孤立の防止や地域ぐるみの生活課題に対する解決に向け、いきいき支援センターや介護保険事業所をはじめ各種関係・専門機関と

の連携・協働を進めます。

なかでも、高齢者の生活課題として身体機能の低下や移動手段がないことを理由に外出が困難となるため、高齢者のお出かけをサポートする仕組みとして「ライドシェア方式」の活用について調査します。

③ みんなの食堂（子ども食堂）の開設・運営支援

共生型サロンでもあるみんなの食堂（子ども食堂）は、未就学児から高齢者まで世代を超えたふれあい・交流の場として重要な役割を担っています。そこで、地域の中で様々な人とのつながりをもつとともに、食事を通して子どもの健やかな育ちを支援し、親子が地域と関われる機会を設け、さらに子どもが一人でも安心して来られるような楽しい居場所づくりのため、みんなの食堂（子ども食堂）の運営を支援します。具体的には、区内の子ども食堂の運営者及びボランティアに対し、開設や運営に関する困りごとや各助成関係の情報、この活動を通しての地域での見守りなどについて意見交換や情報交換等を行う「子ども食堂運営者交流会」を開催します。

(7) 「名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業」の受託実施

区内8会場において、ボランティアの協力のもと健康増進活動やレクリエーション活動等を通しての仲間づくり、自主活動や地域活動への参加促進を図り、地域ぐるみで介護予防を推進します。事業が地域に根ざし、開かれたものとなるよう、事業活動の担い手である地域ボランティア「はつらつサポーター」を養成し、地域における活動を促進します。また、介護予防・認知症予防を目的とした運動プログラムの取り組みやふれあい・いきいきサロンや地域支えあい活動など地域活動への参加勧奨を行います。

(8) 「第33回めいとう福祉まつり」の開催

広く区民に対して福祉意識の啓発、特に障がい児・者への理解促進を目的に、本会を事務局とした区内の福祉関係施設、団体、ボランティア、区役所からなる実行委員会を組織し開催します。区内の学校や企業をはじめ区民にもバザー商品提供やステージへの出演、運営ボランティア等、幅広く協力を求め、福祉活動等にふれる機会となるよう実行委員会での検討を経て、内容の充実を図ります。

(9) 「60歳の門出を祝う会～還暦式～」の開催及び参加者への地域活動参加支援（※）

60歳の区民等を対象に、地域とのつながりの再構築及び地域活動への契機創出を目的としたつどいを開催し、各学区の地域活動・ボランティア活動の紹介や60歳からの生活に必要な情報の提供を行います。また、学区関係者と顔のつながりをつくる機会として、同日に「区民還暦交流会」を開催します。

このつどいを起点に、還暦式参加対象者で個人情報提供の同意を得た人々に対し、調査によって把握した区内の地域活動、ボランティア活動等の情報を継続的に提供し活動の参加勧奨を行います。

また、還暦式参加者を中心とした自主グループ「名東みらい会」の活動支援や地域活動参加につながるような企画を実施します。

(10) 「めいとう総合見守り支援事業」への参画

地域において日ごろの見守り活動と連動させ、災害時に共助による迅速な安否確認や避難支援が行われるための仕組みをつくることを目指す区役所事業に継続的に参画し、ふれあいネットワーク活動等日ごろの見守り活動につながるよう学区への働きかけを行います。

(11) ふれあい交流ひろば事業への実施協力

推進協およびいきいき支援センター、区内企業等と協働し、区内小学校を会場とし、地域住民の交流や福祉・介護情報の発信の場となる事業の実施・運営に協力します。

(12) 花と人とのふれあいの場所づくり

花を育てることを通じて人がつながる地域づくりを目的に、「みんなで花を育てる」ことで地域住民のふれあいの場を提供する事業を実施する団体に運営費の助成を行います。

(13) 「めいとうSOSあんしんポット」の普及・啓発

災害等緊急時に高齢者や障がいのある人が必要な支援を受けやすくするため、「めいとうSOSあんしんポット」を区役所・保健センターと連携して普及、啓発を行います。

(14) 「めいとう介護フェア」への協力

地域包括ケア推進会議事業として開催される介護フェアの準備・運営協力を行います。

(15) 「しゃきょうガチャポン」の設置

年齢を問わずに区民が気軽に楽しみながら地域福祉に協力できるツールとして設置します。また、景品の収集や運営について、区民の協力を募ります。

(16) 子ども・子育て支援の推進 (※)

子ども・子育て支援を応援する団体の事業へ助成を行う「子ども子育て支援応援成事業」を実施します。

併せて、子どもが学び生きる力を育むことができる場づくりとして、多世代交流のイベントを1中学校区で実施します。

(17) 福祉情報の充実および広報・啓発促進

広報紙「めいとうゆめは一と」については、区民有志等で構成された編集委員会において紙面内容の検討を行い、内容の充実を目指します。また、ホームページの内容充実や区民が求める福祉情報を発信する方法を検討し、実施します。

(18) 在宅サービスセンターの管理・運営

地域福祉活動の推進および在宅サービスの提供を総合的に進める拠点として、地域住民や福祉活動団体等に対し、研修室、点訳室、録音室、ボランティアルームの貸出を行うとともに、施設の利用促進に努めます。

2 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンターの設置・運営

ボランティアの相談、登録、活動調整、情報提供、またボランティア活動保険、行商用保険の加入受付を行います。

(2) 「障がい者とのふれあい行事」の開催

中高生および大学生のボランティア意識の高揚を図るため、手をつなぐ育成会など区内団体と協働し、学生と障がい者との交流行事を行います。

(3) 個別支援ボランティアグループ「なごやかボランティアめいとう」の運営支援

名東区介護保険事業所の登録ヘルパー有志を中心に組織されたボランティアグループの事務局として、制度外ニーズ（傾聴・外出支援等）に対応する個別支援ボランティア活動の支援を継続的に行います。

(4) お助けボランティアグループ「なでしこサポート隊」の運営支援

お助けボランティア講座受講生で組織されたボランティアグループの事務局として、高齢者等のちょっとした困りごとをボランティア活動で解決する「なでしこサポート隊」の活動ならびに研修会等の支援を継続的に行います。

(5) 福祉教育の推進

学校および地域への福祉の浸透を目的に、福祉教育実施に関する相談支援、当事者視点を取り入れた事業提案を行い、当事者講話や車いす、手話、高齢者や知的障害疑似体験など福祉体験学習を実施します。また、福祉教育協力者の勉強会等を実施し、体験学習の向上を図ります。

(6) 名東区ボランティア連絡会の運営協力

区内ボランティアグループによって構成された名東区ボランティア連絡会の事務局として、ボランティアの情報交換会、めいとう福祉まつりへ出展等運営に協力します。

(7) 「ふれあい給食ボランティア衛生管理研修・交流会」の開催

ひとり暮らし高齢者等を対象としたふれあい給食サービス事業に携わるボランティアに対し、食中毒防止等を目的とした衛生管理研修及び交流会を開催します。

(8) 災害に備えたボランティア活動の推進

区内で大規模災害が発生した時に開設する「災害ボランティアセンター」の円滑な運営と地域の防災意識の啓発のため、災害ボランティアグループ「名東区災害ボランティアの会」の支援を行います。

また、発災時に備え、区役所・名東区災害ボランティアの会と「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施します。

3 各種福祉事業

(1) 高齢者福祉事業

- ① 学区敬老行事の支援
- ② 友愛訪問事業などなごやかクラブ（老人クラブ）活動の支援

(2) 障がい児・者福祉事業

- ① 広報なごや区版の点訳発行（ボランティア団体に依頼）
- ② 指導者研修事業など身体障がい者団体が行う事業の支援
- ③ 手をつなぐ育成会が行う事業の支援
- ④ 小規模作業所が行う年末交流事業の支援

(3) 児童福祉事業

- ① 子ども会交流事業、壁新聞展など子ども会活動の支援
- ② 社会見学事業など保育園が実施する事業の支援
- ③ 留守家庭児童育成会が行う事業の支援
- ④ 地域福祉推進協議会が行う子育て支援事業の支援
- ⑤ 子育て情報誌「めいとう子育て応援隊ムズ」の作成協力
- ⑥ 子ども・子育て支援を目的とした事業を行う団体への支援
（「名東区子ども・子育て支援応援成事業」の実施）（※）

(4) 低所得者福祉事業

- ① 生活福祉資金貸付事業等の受託実施
- ② 緊急援護事業の実施
- ③ フードドライブ推進事業

ご家庭にある手つかずの食品を受け取り、生活困窮や困りごとを抱えた世帯など必要な方々に持ち帰っていただけるよう定期的に配布会を開催します。

(5) 民生委員活動の支援

民生委員・児童委員大会、学区民生委員児童委員協議会研修など各種事業の支援

(6) 福祉用具等の貸出

一時的に車いす等が必要になった区民を対象に一定期間無料で貸出を行います。

4 介護保険事業等の取り組み

(1) 名古屋市社会福祉協議会「名東区介護保険事業所」への運営協力

訪問介護員による個別支援ボランティア活動等について協働して実施します。

【介護保険事業所としての主な事業】

① 居宅介護支援事業

② なごやかヘルプ事業

[訪問介護事業(介護保険制度・総合事業)、居宅介護事業(障害者総合支援法)、ひとり親家庭等生活支援事業、産前・産後ヘルプ事業、養育支援ヘルパー事業、生活応援サービス事業]

(2) 名古屋市社会福祉協議会「名東区北部いきいき支援センター」への運営協力

高齢者が生きがいを持って暮らし、活躍できるような環境づくりをすすめるとともに、住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしく暮らすことができるよう、医療、介護、在宅医療・介護連携、認知症施策、介護予防、生活支援、住まいが包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の推進を図り、地域共生社会の実現をめざします。

【いきいき支援センターとしての主な事業】

① 総合相談支援事業

② 権利擁護事業

③ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

④ ブランチ型総合相談窓口事業

⑤ 介護予防支援事業、第1号介護予防支援事業

⑥ 高齢者の虐待防止

⑦ 認知症の人を介護する家族支援事業

5 名古屋市名東児童館の管理・運営

(1) 指定管理者の受託

引き続き名古屋市の施設にかかる指定管理者（指定期間：令和2年度～6年度）として、特定非営利活動法人介護サービスさくらとコンソーシアムを組み、名東児

児童館の管理・運営を、『利用しやすく また来たくなる児童館』を目指して「居場所づくり・仲間づくり」「子ども・子育てに関する相談・援助」「地域で子ども・子育てを支える体制づくり」の3つを基本方針とし、行います。(名古屋市名東福祉会館は、NPO法人介護サービスさくらが管理・運営)

(2) 子ども育成活動の実施

- ① 卓球・将棋・工作・マジック・オセロなどクラブ活動の実施
- ② 季節行事、運動行事、文化・伝承遊び、工作、クッキングなど多様な行事の実施
- ③ Kids City2024、こどもパティシエのおやつやさんなど子ども自らが参画運営する企画の実施
- ④ みんなの運動会、児童館夏祭りなど子供たちの意見・要望から企画した行事の開催
- ⑤ 世代間交流事業として福祉会館と共催でカフェや将棋交流会の実施
- ⑥ 中高生が人や社会と関わり、自主的に活動することを目的に、気軽に立ち寄れるスペース・機会を提供する「中高生の居場所づくり事業」の実施(週1回)
- ⑦ ひとり親家庭等の中学生に対し、大学生のサポートにより学習および進学の意欲を醸成する「名古屋市中学生の学習支援事業」の実施(週2回)
- ⑧ 「名古屋市中学生の学習支援事業」を利用したことがある高校生世代の児童等に対して、自主学習の場の提供や交流の取り組み、様々な悩みに対する相談事業などを行う「高校生世代への学習・相談事業」の実施(週2回)
- ⑨ 地域において、児童館に来館することが難しい子どものために、公共施設などで移動児童館を実施
- ⑩ 地域子ども会活動の支援および子ども会ボランティアじゃりんこの派遣

(3) 子育て支援活動の実施

- ① 親子体操・リトミックなどクラブ活動、メーちゃんひろば・幼児の時間などの自由参加クラブ、ママカフェ・ベビーマッサージなどの行事を実施。
- ② クリスマス会・ハロウィンなど季節感のある行事の開催
- ③ 子育てサークルの活動拠点の提供

(4) 留守家庭児童クラブの実施

放課後の留守家庭の児童を対象に、家庭的な雰囲気の中で健康で情操豊かに過

ごせるよう留守家庭児童クラブ（なかよしクラブ）を実施します。

(5) 「名古屋市名東児童館サービス向上委員会」の開催

利用者へのサービスの質の向上を図るため、サービス向上委員会を開催します。

6 その他

(1) 名東区共同募金委員会事務局の受託運営

理事会・評議員会予定

	回	期 日	内 容
理 事 会	第93回	6月 3日 (月)	事業報告、収支決算 等
	第94回	12月 2日 (月)	事業中間報告 等
	第95回	3月10日 (月)	事業計画、収支予算 等
評 議 員 会	第82回	6月17日 (月)	事業報告、収支決算 等
	第83回	12月23日 (月)	事業中間報告 等
	第84回	3月24日 (月)	事業計画、収支予算 等